



横浜市立富岡小学校

学校だより

9月号



アメリカインディアンの教えから

私が新任教師だったとき、出会った本の中で紹介されていた「アメリカインディアンの教え」に感銘を受けました。教育に生かせる内容が多くあると思い、この教えの内容を意識して子どもたちに向かいました。また、自分の子どもが生まれたときに、改めてこの「インディアンの教え」を意識し、子育てに向かいました。子どもの生きかたを育てるための大切な教えがあると思いますので、ご紹介します。そして、子育てをしている保護者の皆様に、ご自分の子育てについて振り返っていただけたら幸いです。

【アメリカインディアンの教え】

- ◆批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします（批判ばかり受けて育った子は、人をけなすようになります）
- ◆敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います（いがみあう家庭で育った子は、人と争うようになります）
- ◆ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります（侮辱されたりけなされたりして育った子は、自分に自信をもてなくなります）
- ◆ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります（親が他人に対して嫉妬ばかりしていると、子どもも人を羨むようになります）
- ◇心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります（安心できる家庭で育った子は、自らを信じ、人を信じられるようになります）
- ◇はげましを受けて育った子は自信をもちます
- ◇ほめられる（価値付けられる）中で育った子はいつも（他の人に）感謝することを知ります
- ◇公明正大な中で育った子は正義心を持ちます（正直な家庭で育った子は、誠実であることの大切さを学びます）
- ◇思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます（やさしさと、思いやりのある家庭で育った子は、他人を尊敬することを学びます）
- ◇人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします（認められて育った子は、自分が好きになります）
（子どものなしとげたことを認めてあげれば、目的をもつことの素晴らしさを学びます）
- ◇仲間の愛の中で育った子は世界に愛をみつけます（和気あいあいとした家庭で育った子は、この世の中はいいところだと思えるようになります）

【副校長 江目 親利】

【今後の工事の予定】

現在、第3校舎の外壁改修工事を行っています。外壁の舗装とサッシの全面改修をしています。この工事は、9月末まで続きます。その間、第3校舎の周りに足場が組まれていますので、第3校舎の裏へは進入禁止になっています。

また、西門の改修工事が9月1日から始まります。古くなった門扉をステンレス製の新しい門に改修する工事です。工事期間は、10月20日までとなっています。その間、登校の際に西門が使えません。西門から登校している子どもたちは、工事期間中は南門から登校することになりますので、よろしくお願いいたします。

工事関係者には、子どもたちの安全について十分配慮してくださるよう伝えてありますが、保護者・地域の方にも工事について知っていただき、子どもの安全を見守ってくださればと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。